

## 第13 建設・不動産業

### 建設業許可

建設業を営もうとする者は、「軽微な建設工事」のみを請け負う場合を除き、建設業の許可を受けなければなりません。（建設業とは、元請・下請を問わず、また、法人・個人を問わず、建設工事の完成を請け負う営業をいいます。）

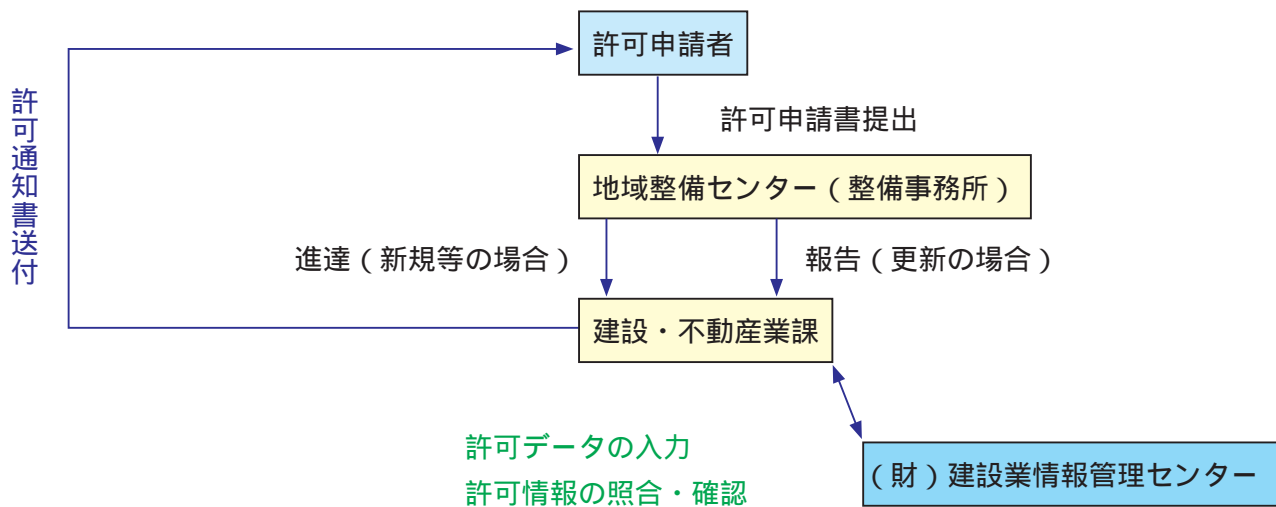
国土交通大臣許可…… 2以上の都道府県の区域内に営業所を設けて営業する者

千葉県知事許可…… 千葉県内にのみ営業所を設けて営業する者

軽微な建設工事

土木一式工事等 (建築一式工事以外)	1件の請負代金が500万円未満の工事
建築一式工事	次の かのいずれかに該当する工事 1件の請負代金が1,500万円未満の工事 延べ面積150㎡未満の木造住宅工事

建設業許可事務の流れ（知事許可の場合）



建設業知事許可業者の推移

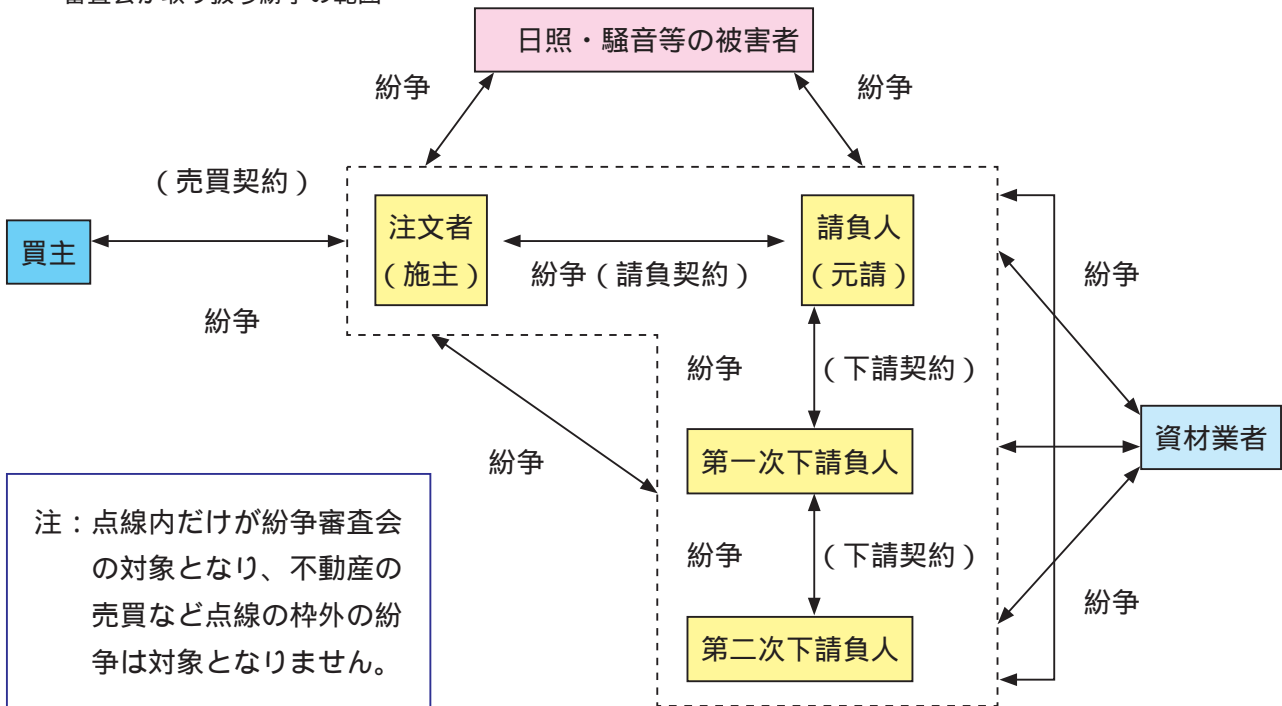
年度	個人	法人	計
20	2,156	16,436	18,592
19	2,129	15,921	18,050
18	2,253	16,115	18,368
17	2,397	16,536	18,933
16	2,643	16,966	19,609

## 建設工事の紛争処理

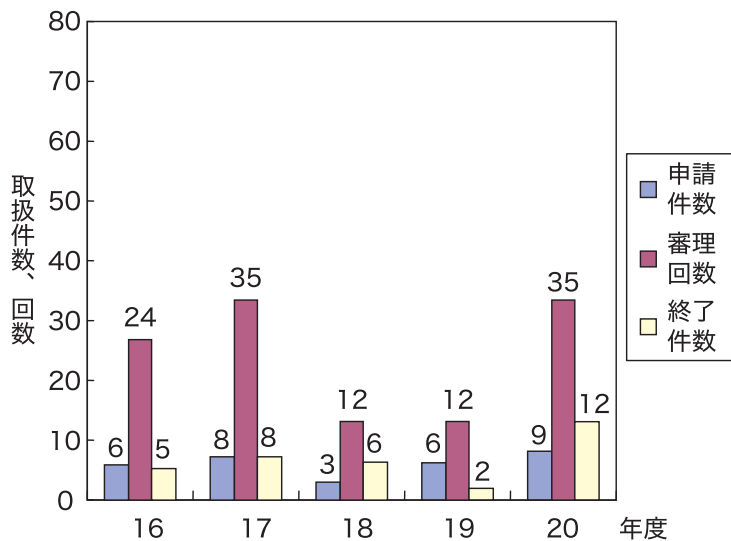
建設工事紛争審査会は建設工事の請負契約をめぐる紛争について、専門家による迅速かつ簡易な解決を図ることを目的として、建設業法に基づき国土交通省及び各都道府県に設置されています。

審査会は、当事者の一方または双方が建設業者である場合の紛争のうち、工事の瑕疵、請負工事代金の未払いなどのような「工事請負契約」の解釈または実施をめぐる紛争の処理を行います。

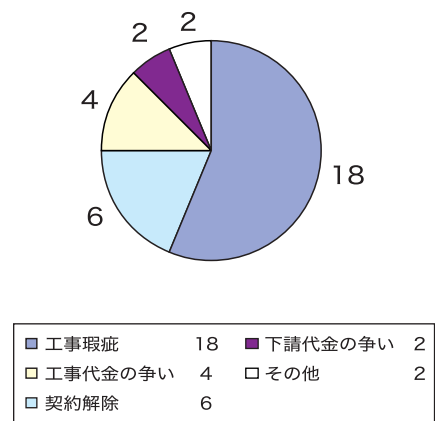
審査会が取り扱う紛争の範囲



建設工事紛争審査会取扱状況



紛争審査会の事由別申請件数 (過去5年合計)



☆ 建設工事紛争審査会についてのお問い合わせ ☎ 043 (223) 3108

## 入札・契約制度の改善

本県では、公共工事等の透明性の確保、公正な競争の促進、適正な施工の確保、談合などの不正行為の排除の徹底を図るため、入札・契約制度の改善に取り組んでいます。

### 入札・契約に係る情報の公表

予定価格を事前公表（一部試行案件を除く）とし、指名業者、入札者・入札金額、落札者・落札金額、最低制限価格、低入札価格調査制度の調査基準価格、契約内容等の情報を事後公表しています。

### 施工体制の適正化

契約された工事の適正な施工を確保するため、工事現場の点検を行うなど施行体制の把握に努めています。

### 不正行為に対する措置

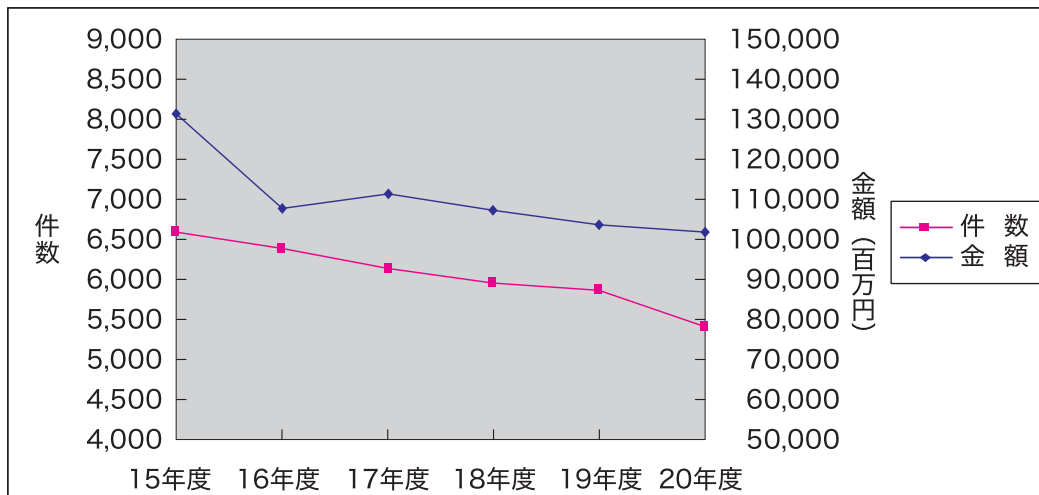
談合など不正行為に対処するため、公正取引委員会など関係機関との連携強化に努めています。

### 入札方法

	一般競争入札	指名競争入札
予定価格	5,000万円以上の工事	5,000万円未満の工事及び建設工事に係る調査・測量・設計等委託業務
	公告により参加者を広く募集し入札を行う方法です。	あらかじめ入札参加資格審査を受けて登録された業者の中から、工事場所、規模、難易度などから入札に参加する業者を県が指名して入札を行う方法です。

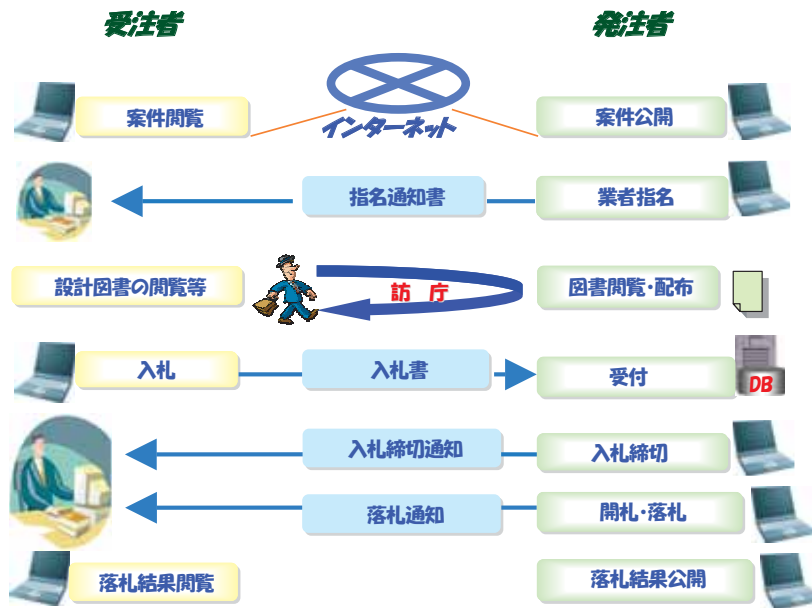
なお、WTO（世界貿易機関）による政府調達に関する協定に基づき、予定価格が26億3千万円以上の建設工事は、一般競争入札方式の採用が義務付けられています。

### 近年における県発注工事の推移



# 電子入札

電子入札とは、インターネットを利用して、発注者～応札者間で入札行為を行うことを言います。公共発注機関における従来の入札では、応札者は"掲示板"や"官報"又は公共発注機関が運営するホームページの"入札公告情報"などを閲覧し、応札できる案件を判断した上で、入札参加申請等の手続きを経て、発注者のもとに出向いて入札行為をしていました。



電子入札の流れ

電子入札は、従来までの入札に係る行為をインターネットとコンピュータを用いて電子化するもので、発注機関はあらかじめ決められた時間と場所において開札処理を行い、その結果を応札者に連絡するなど入札に係る諸手続きを電子的に処理するシステムです。

千葉県では、平成16年度に電子入札システムの開発を行い、平成17年度から導入しました。

平成19年度からは、建設工事及び建設工事に係る調査・測量・設計等委託業務の全案件で電子入札を実施しています。



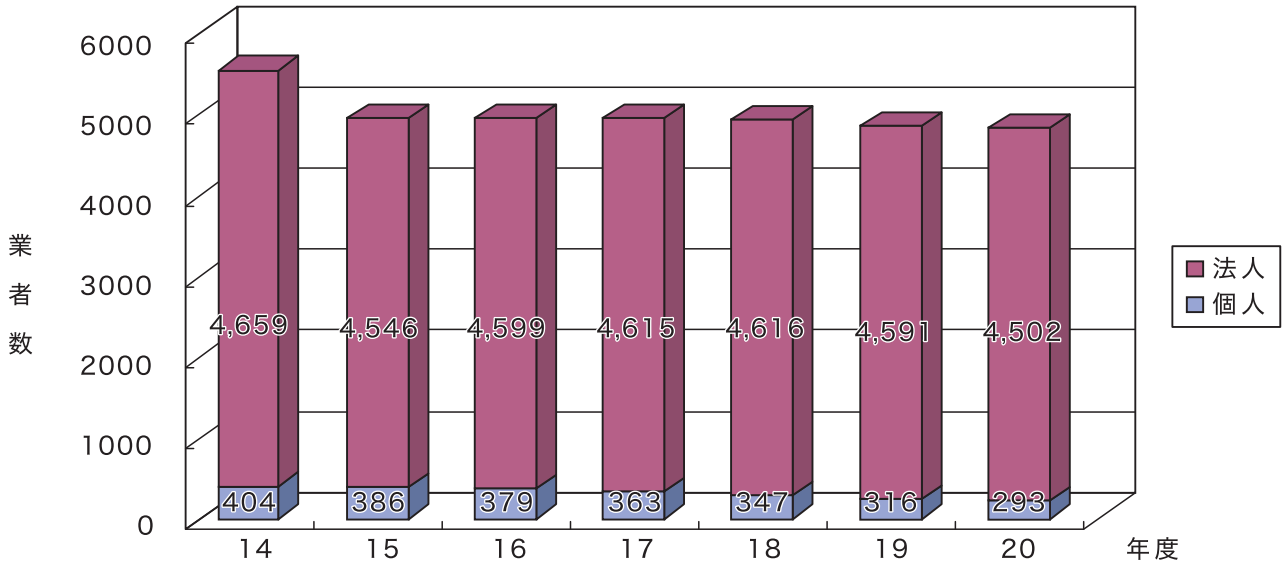
電子調達システムポータル画面

# 宅地建物取引

## (1) 宅地建物取引業の免許制度

昭和39年の宅地建物取引業法の改正で、それ以前の登録制度から免許制度に改められ、宅地建物取引業を営む者は免許が必要になりました。

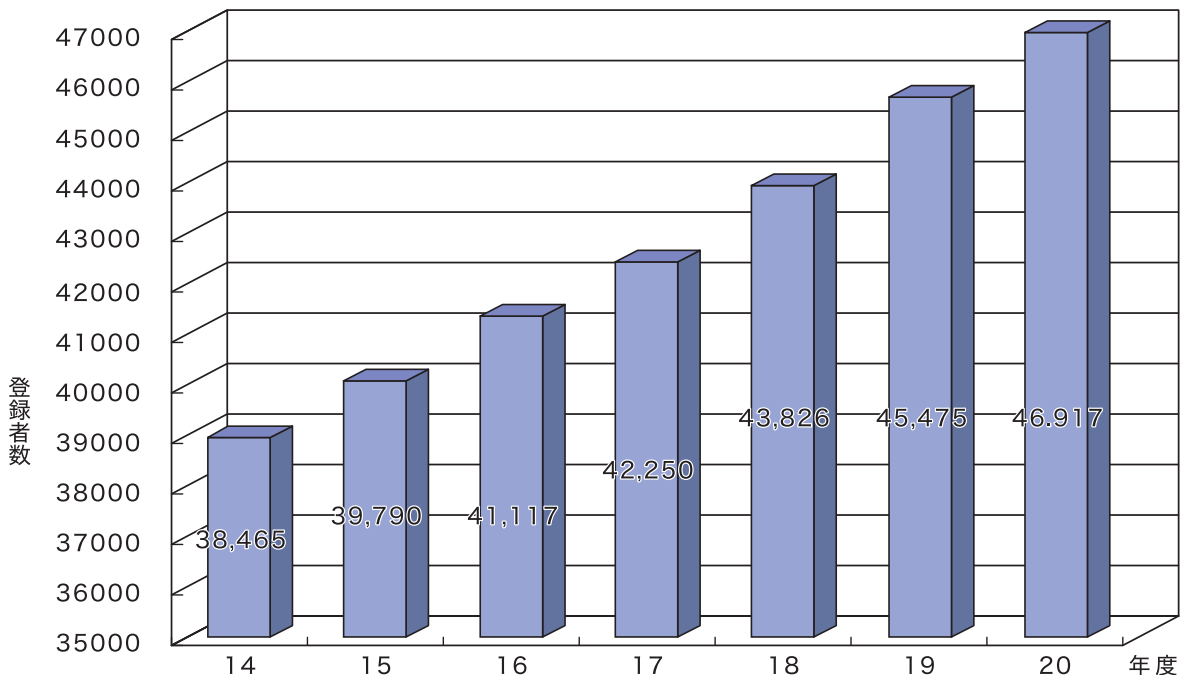
宅地建物取引業者数（年度末）の推移



## (2) 宅地建物取引主任者制度

宅地建物取引業法では、宅地建物取引業者は、事務所ごとに法定数の取引主任者を設置することが義務付けられています。取引主任者の業務は、重要事項の説明、契約締結時の立会い等、その職務責任が明確にされています。

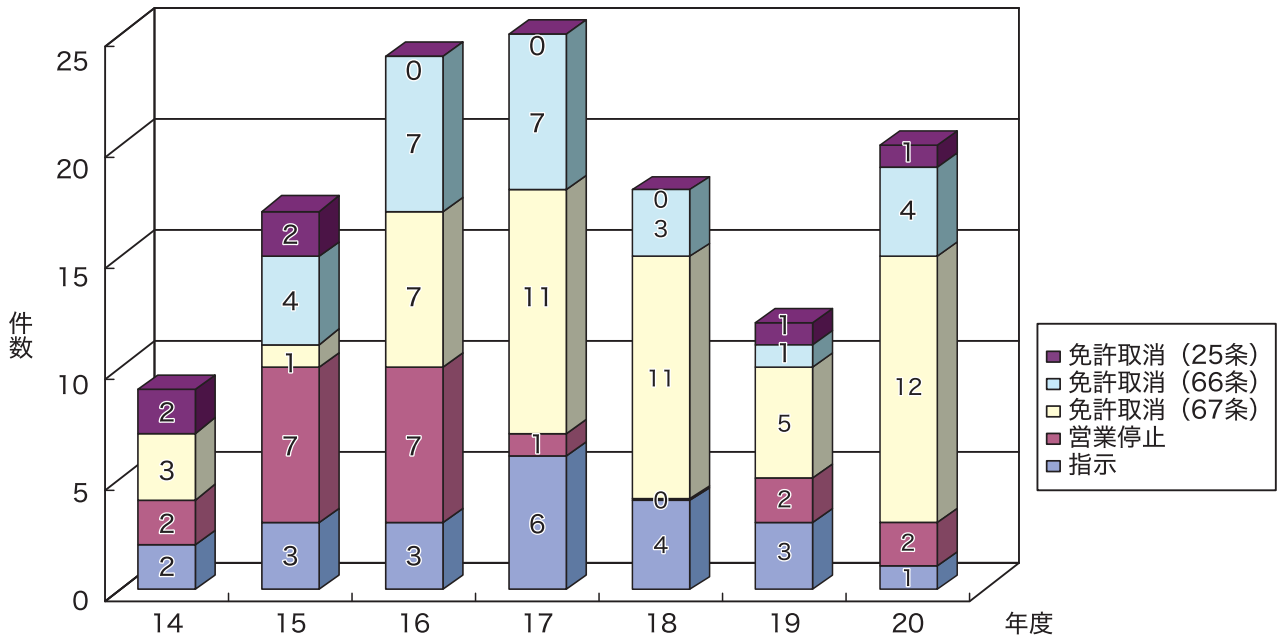
登録済宅地建物取引主任者数（年度末）の推移



### (3) 宅地建物取引業者に対する指導

宅地建物取引の公正を確保するために、悪質な取引、業法違反、誇大広告等の疑いのある業者については、呼び出し、店舗調査等の指導・監督を厳正に行うとともに、講習会等を通じて業者及び業界の質的向上に努めています。また、不正取引、業法違反を行った業者については、免許の取消し、業務停止など厳正な処分を行っています。

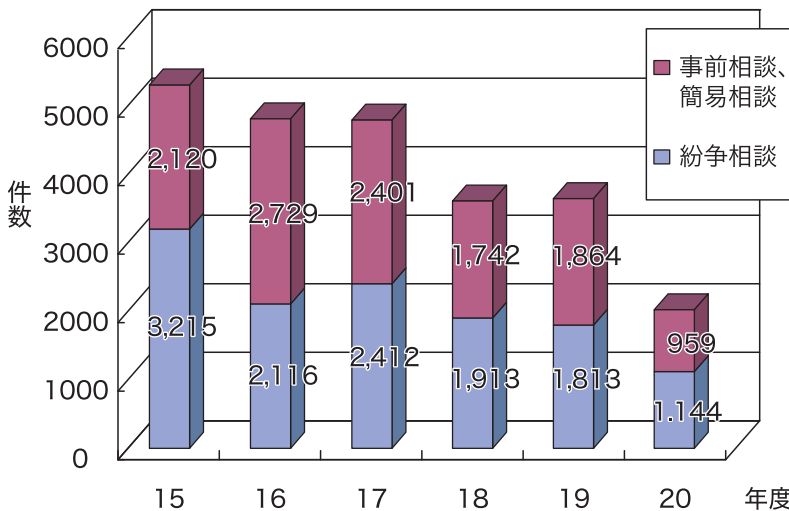
最近7か年の監督処分等の状況



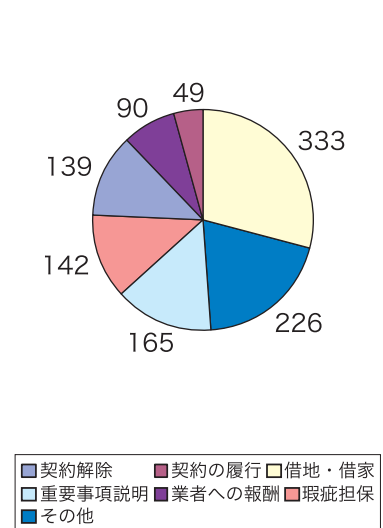
### (4) 消費者に対する啓発

宅地建物に係る取引の被害や紛争を未然に防ぐため、パンフレット「不動産売買の手引」の配布、県のホームページ、県民だより、新聞、電話相談等を通じて取引上必要な知識の普及に努めるとともに、「不動産取引事前相談コーナー」を設け、毎週月曜日に実施しています。また、消費者と業者との紛争に関しては、公正な取引の確保と消費者の保護を第一としながら紛争の解決を図るべく努力しています。

宅地建物取引に関する相談件数の推移



紛争相談件数の事由別内訳 (20年度)



☆ 宅地建物取引に係る紛争相談のお問い合わせ ☎ 043 (223) 3238